



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1037 2016年8月8日

ARIBからのお知らせ

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

平成27年度下期に実施した「標準規格等の英語翻訳」の成果として、3件の英語翻訳版を公開しました。

1.通信分野

規格番号等		標準規格名等
STD-T92	1.0 版	特定小電力無線局 433MHz 帯国際輸送用データ伝送無線設備標準規格
STD-T99	2.1 版	特定小電力無線局 150MHz 帯動物検知通報システム用無線設備標準規格

2.放送分野

規格番号等		標準規格名等
STD-B66	1.2 版	UHDTV マルチフォーマット・カラーバー標準規格

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものであることを示します。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIBの動き

APG-19 第1回会合の概要

APG-19 (APT Conference Preparatory Group for WRC-19) 第1回会合が開催されましたので、その概要をお知らせします。

APG-19 は、2019 年に開催される世界無線通信会議 (WRC-19) に向けて、アジア・太平洋電気通信共同体 (APT: Asia-Pacific Telecommunity) の共同提案 (APT Common Proposal) を作成することを所掌しており、今回が第1回の会合 (APG19-1) です。

## 1. 会合の概要

日 程：2016年7月26日（火）～28日（木）

場 所：中国 成都

参加者：24ヶ国から約270名が参加（日本は、総務省国際周波数政策室 菅田室長を団長に35名が参加、当会から佐藤、小山、加藤の3名が参加）

## 2. 主要結果

WRC-19に向けたAPGの新しい議長・副議長及び検討体制（ワーキングパーティ:WP）に関して、各国提案に基づき審議、調整が行われた結果、下記の通り決定しました。衛星業務の議題を担当するWP3の議長として、日本から阿部宗男氏（三菱電機）が選出されました。

APG-19 検討体制

議長	Dr. Kyu-Jin Wee（韓国）
副議長	Mr. Xiaoyang Gao(中国) Mr. Neil Meaney（オーストラリア）
編集委員会議長	Dr. Tommy Chee（ニュージーランド）
WP1: Land mobile and fixed services	Ms. Zhu Keer(中国)
WP2: Broadband applications in the mobile service	Dr. Kyung-mee Kim（韓国）
WP3: Satellite services	Mr. Muneo Abe(日本)
WP4: Science services	Dr. Atmadi Wiseso Soewito（インドネシア）
WP5: Maritime, aeronautical and amateur services	Mr. Bui Ha Long（ベトナム）
WP6: General issues	Mr. Taghi Shafee(イラン)

- ・ WP 設立後最初の会合が実施され、各 WP にて配下のドラフティンググループ（DG）の構成、DG 議長、今後の作業計画の議論が行われました。
- ・ APT において無線に関する検討を行うグループである AWG（APT Wireless Group）からのリエゾン文書に関して、APG での議論に必要な検討の実施、及びタイムリーな検討結果の提供を依頼するリエゾン回答文書を作成しました。
- ・ 今後の会合計画（全5回）を作成しました。
  - 第2回：2017年7月中旬（4-5日間） APT 暫定見解の作成着手
  - 第3回：2018年7月または8月（5日間） APT 暫定見解更新
  - 第4回：2018年12月または2019年1月中旬（6日間） CPM19-2 提案の完成、APT 暫定見解更新
  - 第5回：2019年7月または8月（6-7日間） APT 共同提案の完成

## 3. 次回会合予定

APG-19 第2回会合は、2017年7月中旬にインドネシアで開催される予定です。

## 第 142 回電波利用懇話会を開催 「ロボット・ドローン用電波利用システムの最新動向」

7月29日（金）に、第142回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省移動通信課の伊藤様、ミニサーベイヤーコンソーシアムの野波様、双葉電子工業の姉齒様、産業競争力懇談会（COCN）の秋本様を講師にお迎えして「ロボット・ドローン用電波利用システムの最新動向」と題してご講演いただきました。

ご講演ではロボット・ドローンの電波利用に関する総務省の取組みや、ドローンのビジネス動向、ロボットの無線通信技術の動向、災害対応ロボットの社会実装に向けた取組みなど、非常にホットな話題について分かりやすくご紹介いただきました。

当日は、約100名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、ロボット用電波利用システムの運用調整の方法などについて活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料につきましては、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html> において公開予定です。



第 142 回電波利用懇話会の様子



総務省移動通信課  
課長補佐

伊藤 英知様



ミニサーベイヤー  
コンソーシアム 会長  
(千葉大学)

野波 健蔵様



双葉電子工業(株)  
企画開発部 主幹技師

姉齒 章様



産業競争力懇談会（COCN）  
災害対応ロボット  
推進連絡会サブリーダー  
(日立製作所)

秋本 修様

## 今週の ARIB 内会合（8月8日～8月12日）

8月10日（水） スタジオ設備開発部会 主任会議

## 今週の国際会合（8月8日～8月12日）

参加を予定している会合はありません。

### 編集後記

今週の木曜日（8月11日）は「山の日」で祝日になっています。この「山の日」は、2014年5月に制定されたそうですが、祝日となるのは今年からのため、8月のカレンダーを初めて見たときに、「こんなところに祝日があったかな」と思われた方もおられたのではないのでしょうか。

「山の日」は、日本の山岳5団体（日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳会、日本山岳ガイド協会、日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト）が2010年に「山の日」をつくろうという取組みをスタートし、その成果として制定されたそうで、制定までの経緯が日本山岳会のホームページにまとめられています。

5団体の協議が始まったころ、先行して「山の日」という名称で記念日を制定している府県が13もあり、8月8日を県の「山の日」と定めていた山梨県では、県の記念日を中心に、前後2か月の期間に官民が協力して50以上のイベントを展開するまでになっていたそうです。

紆余曲折を経て、各府県の合意を取りつけ、8月11日を国民の祝日として制定するところまでこぎつけた経緯や苦労は、電波の標準化に似たところがあったのではないかと思います。

(Y.M.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)